素顔よこ顔

いわき絵のぼり吉田　三代目絵師　**辰昇**さん　2

プロフィル

しんしょう

1978（昭和53）年、泉町生まれ。本名、吉田博之。二代目絵師の祖母から継承の誘いを受け、専門学校を卒業後、独学で「絵のぼり」を習得。

雅号の「辰昇」は、曾祖父で初代絵師、辰治さんの「辰」と、絵のぼりの「のぼり（昇り）」が由来。自由ケ丘、「人形の東月」でも作品を取り扱い中。武者絵などの絵のぼり（縦450㎝、横70㎝）の価格は13万円から。

電話 0246-96-5506

「全国区」への道歩む

だんじり祭りで幕注文も

男児の健やかな成長を願い、端午（たんご）の節句（五月五日）に飾られる「絵のぼり」。江戸時代からの伝統で、勇ましい武者などが墨や極彩色で描かれている。泉町、「いわき絵のぼり吉田」の三代目絵師、辰昇さん（四四）は、制作技術を受け継ぐ職人の一人。地元だけでなく大阪や埼玉からも依頼が舞い込み、〝全国区〟への道を歩んでいる。

「江戸の高水準」目指す

道具は祖母、曽祖父から名

▽工房にはたくさんの作品がありますね。今は…

▼端午の節句に向けた絵のぼりづくりです。発注は例年、三月の半ばごろに増えます。それから大作づくりも。大阪の「だんじり祭り」で、だんじりに巻きつける幕を制作しているのですが、大きさは横六・五メートル、縦二メートル。工房ではすべてを広げられず、一苦労です。

ちなみに「絵のぼり」は、江戸の武家文化から始まったとされています。虫干しされた軍旗が、節句の旗になっていったわけです。いわきでは、磐城平藩の内藤義概公が飾ることを推奨したと言われています。江戸時代には美術的な作品が多く、私はその高い水準を目指しています。

▽絵師を目指したきっかけは、何だったのですか

▼絵を描くことが好きだったんです。母方の祖母、宇佐美しずえは二代目絵師だったのですが、幼い頃、描いた漫画を見せて褒められるのがうれしくて、自宅では漫画ばかり描いていましたね。

高校は一度中退しています。当時は「漫画家を目指すから」と言っていたのですが、周囲になじめなかったのが主な理由。それを自覚してから、漫画の道を離れ再入学。卒業後は専門学校に進みました。

その頃、祖母から「覚えてみないか」と声をかけられたんです。卒業後に教えてもらう予定でしたが、その前に祖母が倒れ、叶（かな）いませんでした。

▽師事するべき人がいなくなってしまったんですね

▼ですから、祖母の使っていた道具や下絵などを預かり、独学を始めました。工程を叔父や叔母に聞いたり、日本画、書道、表装を習ったりして、技術や知識を身につけました。最初は雲を掴（つか）むような話でしたが。

また、初代絵師の曾祖父、辰治の作品を買い戻すなど

し、研究を続けています。平成十三年に学び始め、プロになったのがその三年後です。

▽これまで、絵のぼり一筋だったのでしょうか

▼先ほど「だんじり祭り」にかかわる制作について話しましたが、幅は広がってきています。だんじりの幕は、刺しゅうではなく絵が良い、と注文を受けました。二匹の龍を描いていますが、何度も離れて確認しないといけないですし、顔を描くまでは怖さもありましたね。

また、神奈川県の神社から御祭神の旗を描いてほしいと頼まれたり、地元の神社から御朱印の絵柄を依頼されたりしています。技法を生かしてもらえるのは、やりがいがあります。人気のセレクトショップ「BEAMS」とのコラボもありました。

「だんじり祭り」で使われる大作づくりに挑む辰昇さん

▽作品をつくる際、どんなことを心掛けていますか

▼誰がどこで見るのかを意識することです。絵のぼりであれば、子どもの「原風景」にもなりますから、勇ましい絵であっても、親しみやすさを心がけます。また、子どもの頃に漫画『ドラゴンボール』が好きだったこともあり、動きのある絵が好きなんです。

近年は、新たに御朱印の絵柄を依頼されることも

よ。だから、一枚絵であっても躍動感を意識しますね。

それから、昔ながらの絵柄を現代に描く意味についても考えます。「江戸時代から抜け出してきたんじゃないか」と思わせ、かつ現代人が見ても新鮮な作品を届けたいです。

▽今後、実現していきたい夢や展望は…

▼伝統的なニュアンスを現代に生かせる場面はあります。一方で、現代的なデザインで使われても面白い。対応力を身につけ、仕事の幅を増やしていきたいです。

また、私が集めている作品の中には、驚くようなデザインもあります。そういったものを広く見てもらえる機会もあれば良いですね。

ひと言

漫画家志望だったことや、高校を中退して再入学したことを自身のHPでも明かしている辰昇さん。インタビュー中も率直に経験を話し、「そうすることで、つらい思いをしている生徒を励ますことになるかもしれない」と思いを語った。目を引いたのは、職人らしい厚い手。制作に励む真剣な表情からは、「伝統」と生きていく覚悟を感じた。（鷹）

老人施設、高齢者、障害者の給食・社員食堂・学食・弁当販売・移動販売

おもてなしを大切に、そして感動を
テンミールグループ

テンミール株式会社
アジアン ミール株式会社
株式会社テンミールIWAKI
株式会社一平

パート従業員 募集

・社員登用あり　・詳細は面談にて

テンミールグループ　本　部：TEL.0246-88-6010　業務本部：TEL.0246-68-8254　いわき市若葉台1丁目18番地の18